

# 市議会だより



## ●介護予防運動で心も体も健康に

大切な人の人生を予防と福祉の両面から支える。潟西中学校生徒が、高齢者福祉に関する体験学習の一環として、地域住民と一緒に「100歳体操（介護予防運動）」を行いました。

## ～男鹿から東北に力を！～

### ◆6月定例会審議日程◆

6月12日	本会議（議案上程）
14日	本会議（一般質問）
15日	本会議（一般質問）
16日	本会議（一般質問）
19日	本会議（議案質疑）
20日	予算特別委員会
21日	常任委員会・分科会
22日	常任委員会・分科会
27日	議会運営委員会 本会議（表決）

### 記事内容

5月臨時会・6月定例会から	…… P 2～P 3
議会報告会	…… P 3
一般質問	…… P 4～P 8
議案質疑	…… P 8
予算特別委員会	…… P 9
常任委員会	…… P 10
討論・表決状況、会派構成	…… P 11
編集後記・陳情等	…… P 12

5月臨時会  
6月定例会

平成29年5月臨時会は、5月2日に開会し、提案された一般会計補正予算案など8議案を全会一致で可決及び承認しました。また、5月第2回臨時会は、5月22日に開会し、副市長選任案に同意しました。平成29年6月定例会は、6月12日に開会し、6月27日までの16日間の会期で開かれ、この定例会では、中小企業振興資金融資あっせん条例の改正案など16議案が市長から提案され、全ての議案を可決、同意及び異議なしとしました。

※男鹿市議会会議録は男鹿市ホームページでご覧いただけます。

5月臨時会

●「統一日本100名城」選出  
平成29年4月6日、公益財団法人日本城郭協会は、脇本城を含む統一日本100名城を発表しました。

脇本城跡は、中世時代を代表する東北最大級の山城であり、改めて脇本城の文化的価値を再確認するとともに、今後も地域振興や男鹿の観光に繋げていけるよう整備に努めます。

5月第2回臨時会

●副市長の選任について  
副市長の選任案が上程され、県職員（秋田県総務部課長待遇）である笠井潤氏（51歳）が、起立採決の結果、全会一致で同意されました。

6月定例会

●市長の市政運営基本方針  
全ての市民が心を一つにして「オール男鹿」で前に進んでいくことが大事であると考えており、市民との対話を積極的に進め、市民生活優先のきめ細かな施策・事業を推進していきます。本市では、雇用の場の減少、人口の流出、少子高齢化が最大の課題となっています。本市にある資源は県内でも一番の可能性を持っており、県議会議員時代には、多くの県民から「男鹿が良くなれば秋田県全体が良くなる」との意見をいただきましたが、今が地域再生のラストチャンスと捉え、各地域の問題点を洗い出し、課題解決に向けて邁進することが必要と考えています。

計では、一般会計から3千万円の追加繰り入れ等により、純利益は2千649万9千円となっております。

●平成28年度一般会計決算等の概要について  
一般会計では、歳入総額172億3千793万円、歳出総額168億6千250万円、実質収支は2億8千565万円の黒字決算となっております。

●総合防災訓練について  
県民防災の日（5月26日）、船越地区で地区住民、保育園児、小・中学生、防災関係機関など約1千200人が参加し、男鹿市総合防災訓練を実施しました。

今年度は、大津波の襲来を想定した津波避難訓練を行ったほか、秋田海上保安部と男鹿地区消防本部が連携し、津波

永年勤続表彰  
第93回全国市議会議長会定期総会において、次の4名の議員が永年勤続者として表彰されました。



木元 利明議員 (議員在職10年以上)  
船木 正博議員 (議員在職15年以上)  
中田 謙三議員 (議員在職20年以上)  
高山 富勝議員 (議員在職20年以上)

可決した主要議案

5月臨時会

●専決処分・補正予算  
一般会計予算(第3号) 他3件

●固定資産評価審査委員会委員の選任  
小澤田 勝之助(横戸)

●教育委員会委員の任命  
加藤 久夫(船越)

●吉田 貴美子(船越)

6月定例会

●男鹿市中小企業振興資金融資あっせんに関する条例の一部改正  
●(主な内容)「男鹿市中小企業振興資金」の融資対象に、新規に創業しようとする方を追加する改正です。

●(補正予算)  
一般会計予算(第4号)  
●(主な内容)複合観光施設整備事業費6億2千390万円、男鹿山温泉2号井揚湯設備更新工事費2千240万円、住宅リフォーム助成事業費補助金1千万円などを措置したもので、歳入歳出それぞれ12億1千840万円を増額するものです。

●(その他)  
●財産の無償譲渡  
●(主な内容)旧野石地区農村集落多目的共同利用施設の建物を野石町内会に無償譲渡するものです。

●市道の認定及び廃止  
●監査委員の選任  
●鈴木 誠(秋田市)

●教育委員会委員の任命  
安田 一彦(北浦)

●人権擁護委員の推薦  
佐藤 京子(船川)

●(議員提出議案)  
意見書2件

漂流者の水難救助訓練を実施しました。  
男鹿東中学校では、避難所を開設し、生徒と自主防災組織の連携による避難所運営業務の訓練などを実施しました。また、当日は市内の保育園、幼稚園、小・中学校、市内57の自主防災組織、約3千300人が訓練を実施しています。多くの皆様から参加をいただき、防災意識の高揚に成果を上げることができました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

議会の開催

●男鹿市議会では、男鹿市議会基本条例に基づき、平成24年から毎年1回、議会報告会を開催しています。今年度も、3班に分かれ、市内9地区で開催しました。開催にあたっては、より多くの方に参加頂けるよう、開催日時等について協議を重ね、広報に努めた結果、市政に関心を持つ多くの方から参加いただきました。

●報告会では、平成29年度の主要事業の概要及び当初予算や6月定例会の概要について報告し、その後、それらに

●複合観光施設整備事業について  
●町内会交付金の制度改正について  
●公金着服事件の経過について  
●風呂ランドおがの今後について  
●防災行政無線の難聴対応について  
●山林の維持・管理について  
●道路の維持・管理をもっと促進して欲しい。

●沿道の草刈りを徹底して欲しい。  
●ジョオパーク全国大会も予定されているが、景観地として、廃屋や草木の処理等、もっと見せる努力が必要ではないか。

●人口減少に歯止めがかかっていない現状だが、若年者が地元に着出るよう、雇用面など対策を考えて欲しい。

行政手腕に期待!!  
なって市政発展に努める  
に笠井潤氏を選任

菅原市長就任、  
一地域と一体と  
副市長



椿地区議会報告会。「議員定数削減等の議会改革に引き続き取り組んでいくのか」との意見がありました。

●報告会では、平成29年度の主要事業の概要及び当初予算や6月定例会の概要について報告し、その後、それらに



船木 金光 議員

ゲートキーパー(命の門番)について

自殺対策の一環として秋田県... 門番」とも呼ばれ、悩みを抱える人... 本市における取り組みと、従来の施策との違いについて、二つ目は... 三つ目は市民にできる身近な取り組みについて伺います。

本市において地域での自殺予防への意識向上と、活動の広がりを図る人材を育成するためのメンタルヘルスマネジメント講座を開催し、現在117名が登録し自殺予防支援活動を行っています。県では活動の裾野をさらに広げる「ははれはれゲートキーパー」養成講座とした第1回講座を本市で行い、27名が受講しています。メンタルヘルスマネジメント3日間の受講が必要ですが、ゲートキーパーは2時間の講習で、こころの健康、自殺予防に関する基

礎的な事例を学ぶことができます。二つ目は住民への挨拶や声掛けを通し、相談の入口となることで「孤独」「孤立」を防ぎ専門機関への橋渡し役になることを期待されています。三つ目は3月の秋田県いのちの日、9月の自殺予防週間での街頭活動等の取り組みがあります。

ふるさと納税について

総務省は返礼品の調達費用を寄付額の3割以下に抑える方向で要請していますが、本市におけるこれまでの対応について伺います。

資産性の高いもの、価値が高額なもの、返礼割合が3割を超えていた旅行クーポンについては見直しを進めているところで、漁業復活に向けた漁業振興対策について

本市の漁業を取り巻く環境は漁業者の高齢化や後継者不足の考えを伺います。

新規漁業者、後継者の確保と平成4年度から「農林漁業後継者等奨励制度」、平成20年度から「男鹿市漁業振興資金貸付金」を創設し、漁業従事者の確保、育成に取り組んでいます。

本市の漁業を取り巻く環境は漁業者の高齢化や後継者不足の考えを伺います。

新規漁業者、後継者の確保と平成4年度から「農林漁業後継者等奨励制度」、平成20年度から「男鹿市漁業振興資金貸付金」を創設し、漁業従事者の確保、育成に取り組んでいます。



三浦 一郎 議員

道徳の教科書化まで進んでいるのか？

先般の県内市町村教育長等会議で、道徳の教科書化はいじめ問題の深刻化がきっかけとなったとの内容があったようですが、戦前・戦中の道徳の基本・教育勅語は封建的な天皇主権のもと、上から押し付ける性格をもち戦争遂行の背景となったとして敗戦後は廃止されました。道徳とは互いに認め合う人間としての常識範囲の事で、子どもは大人社会を映す鏡です。人思いやる心がおろそかにされ、自分だけ・今だけ・金だけの社会がはじめを深刻化させ、検定教科書も作らなければならぬという残念な思いです。教科書化による仕事増から教員の増員も必要になると思いますが市の考えを伺います。

教科書化になることで教員の業務量が増えることは事実です。加えて小学校低学年から外国語時間、高学年から英語の教科書も進む方向なので市教育委員会から県



進藤 優子 議員

農産物の「GAP」認証制度について

東京オリンピック、パラリンピックを見据えた、食の安全管理の推進を促すGAP認証制度の推進を促すべく考えますが、見解を伺います。

農産物の安全性とブランドが確保され、生産の安定、販路開拓にも貢献すると考えられるため、JA秋田みなみや関係機関と連携しGAP認証の取得へ向けた普及、推進を図っていく必要があると考えます。

観光地としての環境整備について

伸びた草木で景観や歩行、運転に支障を来している沿道の現状の認識と、早めの対応が望まれる環境整備の考え方を伺います。

男鹿は景観を魅力とする観光地であり、県の協力を得ながら、快適な道路環境の整備、安全な通行の確保や景観の保全等、早めの対応に努めていきます。

寒風山の景観維持と管理についての考え方と、ボランティアで景観維持に努めている方々への、草刈り機械の貸し出しや燃料費等への助成は検討できないものか伺います。

美しい寒風山の景観を維持するためには行政だけでなく、ボランティア等の市民の協力が必要不可欠なものと考えており、草刈り機の貸し出しや燃料費の助成等の支援方法について検討していきます。

児童生徒の就学援助について

就学支援の進捗保護児童・生徒に、新入学児童・生徒学用品費を入学前に支給する必要があります。来春から入学前支給を実現するための予算措置・要綱等改正の準備が必要と考えますが見解を伺います。

新入学児童・生徒学用品費を平成30年度の入学前に支給するに、前年度中の申請・認定と支給を可能にする制度改正が必要ですが、平成30年2月上旬をめどに小・中学校入学予定者へ支給する流れで検討しているところで、【その他の質問】

災害発生時における避難所運営について 災害時支援用パンダナ作成について



米谷 勝 議員

財政状況について

財政調整基金の現状と今後の見通しについて伺います。

財政調整基金の平成28年度末残高は、8億8千519万5千円、今年6月補正後の残高は、5億2万1千円となり、非常に厳しい状況にあると認識しています。財政調整基金は、災害や市税等の急激な落ち込みなどに備えるもので、行政改革大綱に掲げた15億円以上を確保するよう、減少が続いている現状を改善し、減少に基金の確保を図っていきます。

複合観光施設整備について

地域振興公社が複合観光施設運営会社に出資する考えについて伺います。

地域振興公社は、男鹿の観光振興を目的とした企業であり、この施設と連携した取組により管理する観光施設への来客の増加も見込まれることから、出資を予定しているものであり、公社の

その歴史、文化的価値が高く評価され「純日本100名城」に認定された脇本城は、未来に継承すべき市民共有の財産と考えています。今後も、教育活動の場としての活用のほか、観光資源として、ジオツアーのコースへの組み込みや市内観光スポットとの回遊性を創出するなど、新たな活用を検討し、賑わいづくりにによる観光振興につなげるよう努めます。

その歴史、文化的価値が高く評価され「純日本100名城」に認定された脇本城は、未来に継承すべき市民共有の財産と考えています。今後も、教育活動の場としての活用のほか、観光資源として、ジオツアーのコースへの組み込みや市内観光スポットとの回遊性を創出するなど、新たな活用を検討し、賑わいづくりにによる観光振興につなげるよう努めます。

経営努力による利益から、運営会社へ出資されるものであり、問題はないと考えています。

史跡脇本城跡整備計画について

脇本城跡の指定面積は約12万9千777㎡で、このうち、47万9千㎡を個人有地です。今年度から公有化を進めるもので、今定例会に提案している事業費の主な内容は、用地測量委託料、土地購入費、立木補償費などで、内館地区の個人有地2千348㎡を取得する予定です。この後、土地所有者を対象に説明会を開催し、内館地区及び馬乗り場地区などの準整備区から公有化を進めていく予定です。

史跡脇本城跡の今後の利活用について伺います。

その歴史、文化的価値が高く評価され「純日本100名城」に認定された脇本城は、未来に継承すべき市民共有の財産と考えています。今後も、教育活動の場としての活用のほか、観光資源として、ジオツアーのコースへの組み込みや市内観光スポットとの回遊性を創出するなど、新たな活用を検討し、賑わいづくりにによる観光振興につなげるよう努めます。

その歴史、文化的価値が高く評価され「純日本100名城」に認定された脇本城は、未来に継承すべき市民共有の財産と考えています。今後も、教育活動の場としての活用のほか、観光資源として、ジオツアーのコースへの組み込みや市内観光スポットとの回遊性を創出するなど、新たな活用を検討し、賑わいづくりにによる観光振興につなげるよう努めます。

その歴史、文化的価値が高く評価され「純日本100名城」に認定された脇本城は、未来に継承すべき市民共有の財産と考えています。今後も、教育活動の場としての活用のほか、観光資源として、ジオツアーのコースへの組み込みや市内観光スポットとの回遊性を創出するなど、新たな活用を検討し、賑わいづくりにによる観光振興につなげるよう努めます。





佐藤 巳次郎 議員

**市長選挙の争点と結果判断について**  
市長選挙の争点は複合観光施設建設の是非でした。菅原市長の当選となりました選挙結果についてどう判断されているのか伺います。

**答** これまで複合観光施設整備に対する説明が足りなかったために、市民への理解が十分得られなかったことが得票結果にあらわれたと思います。あらゆる機会をとらえ、市民との対話を積極的にいき、施設の必要性と理解を求めていきます。

**複合観光施設急速冷凍設備棟建設費3千万円公費負担についての**

**答** 実施設計による急速冷凍設備棟の建設予算はいくらか。設備棟を市の財源で建設することに市民がどう考えるか、民間企業に對し市民の税金を出していいのかがこの設備棟の分も入札に加えることは基本的問題だと考えます。また、急速冷凍機の補助申請を農林水産省機関に申請したが却下

されたという情報が入っているが承知しているか伺います。  
**答** 急速冷凍設備棟の建設費用は約3千万円です。急速冷凍機の補助申請については今回は通らなかったと聞いています。却下という言葉は、「もう駄目」と受け止められませんが、私は審査の過程で十分なるころがあったという認識をしています。国の補助申請回数は年3回予定されており、次の申請に向けて事業者は再度申請していくと伺っています。

**「生涯活躍のまち展開支援事業」の今後の事業計画について**

**答** この事業は国の予算で昨年度周辺を拠点として、移住促進と地域包括ケアを展開するもので、3月に最終報告が市に示されています。事業主体の地域再生法人が地域交流拠点を整備し、管理運営や人居支援員を配置するとされていますが、今後の取組みを伺います。  
**答** 基本構想では、多岐にわたる事業展開が必要であり、投資費用等多額の財政支出を伴うことから、市としては、まずは住み慣れた地域で自分らしい人生を全うできるように、地域の住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供できるよう男鹿半地域ケアシステムに取り組んでいきます。



古仲 清尚 議員

**リスクマネジメントについて**

武力攻撃事態等の脅威に対し、市として、どのような体制構築を図っていくか伺います。

**答** 今後は、図上、実働訓練などを通じ、住民への情報伝達や避難・対処方法を周知するとともに、救助等にあたり関係機関と連携し、武力攻撃による被害が発生した場合、最小限に留められるよう体制を構築していきます。情報伝達の今後の対応としては、多重化整備を検討していきます。

**答** 市が指定する避難所及び避難場所等での生活環境整備確保についての見解を伺います。

**答** 今後研究し、良好な生活環境の確保を図っていきたくと考えています。  
**答** 有事における災害情報等の把握と情報提供・周知が必要と考えますが見解を伺います。

**答** 今後、市ホームページで住民等が容易に緊急避難情報等を確認できるよう掲載していきます。

**答** 報については、迅速な情報把握と情報提供・周知が必要と考えますが見解を伺います。

**答** 今後、市ホームページで住民等が容易に緊急避難情報等を確認できるよう掲載していきます。

**答** 報については、迅速な情報把握と情報提供・周知が必要と考えますが見解を伺います。

**ごみ処理基本計画について**

一時多量ごみの取り扱いの現状や体制、基準等についての見解を伺います。  
**答** 受け入れにあたり、法的に処理できないもの、適正処理困難ごみは取り除くよう指導しております。今後、詳しく広報していきます。

**答** 幹線道路と橋梁については、補助事業により舗装の補修、橋梁の点検・補修等を行っています。計画通りに進んでいない状況です。

**答** 年所要望を100%とした場合、交付率はどの程度か。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。

**答** 3割程度となっています。



安田 健次郎 議員

**市長の政治姿勢について**

共謀罪や憲法改正、核兵器禁止条約等について市長の所見を止してほしい。

**答** 共謀罪や憲法改正は、国政に關わることであり所見は控え核兵器のない世界の実現に向けて努力を続けていきたいと考えます。

**男女共同参画推進について**

あきたハートモーター事例で6月を推進月間に定めています。市も広報等で呼びかけてはいるものの具体策を強める必要があるのではないかと。また、前市長は宣言塔を検討するとしていたが、塔の設置を考えているのか伺います。

**答** 行政の役割はまずの広報、啓発活動により市民の機運を醸成することが重要です。塔の設置については考えていません。

**国民健康保険税と介護保険料の引き下げについて**

**答** 国保税の市民の負担は相変わらず重く滞納や不納欠損があり、大変な問題です。特に昨年の税の引き上げにより市民の不満は相当強くなっています。本当に住み良い男鹿市を標榜するならば何よりも国保税のあり方と引き下げを検討すべきではないでしょうか。市長の見解を求めます。また、来年度から県単位の広域化になりますが、県が主体となれば各市町村毎の市民向けの取り組みが制約されたり、徴収事務が強化されるなどの心配がありますが、どう捉えているのか伺います。そして、全県一高い介護保険料の引き下げも緊急の課題として対応を検討すべきと思いますが市長の所見を伺います。

**答** 国保会計は支出の増加に収入が追いつかない状況が続いており、繰り入れ不足については一般会計から繰り入れを行い運営していますが、今年度は税の負担を見直せず、現行税率で予算編成をすることから、引き続き厳しい状況になります。広域化については、県の示す標準保険税率を参考に、また、市町村ごとの財政需要を加味して保険税率を決定し、保険税を賦課徴収し県へ納付する仕組みとなります。介護保険料については一人当たりの給付費が県平均を超過していることが高い要因です。



古仲 清尚 議員

**リスクマネジメントについて**

武力攻撃事態等の脅威に対し、市として、どのような体制構築を図っていくか伺います。

**答** 今後は、図上、実働訓練などを通じ、住民への情報伝達や避難・対処方法を周知するとともに、救助等にあたり関係機関と連携し、武力攻撃による被害が発生した場合、最小限に留められるよう体制を構築していきます。情報伝達の今後の対応としては、多重化整備を検討していきます。

**答** 市が指定する避難所及び避難場所等での生活環境整備確保についての見解を伺います。

**答** 今後研究し、良好な生活環境の確保を図っていきたくと考えています。  
**答** 有事における災害情報等の把握と情報提供・周知が必要と考えますが見解を伺います。

**答** 今後、市ホームページで住民等が容易に緊急避難情報等を確認できるよう掲載していきます。

**答** 報については、迅速な情報把握と情報提供・周知が必要と考えますが見解を伺います。

**答** 今後、市ホームページで住民等が容易に緊急避難情報等を確認できるよう掲載していきます。

**答** 報については、迅速な情報把握と情報提供・周知が必要と考えますが見解を伺います。



船木 正博 議員

**ジョイフルシティ跡地をどうするか**

地域の活性化、人口減少対策において、このまま放つては置けない問題であります。市民と観光客が往來する町のど真ん中がこんなことではいけません。私はいつまでも民間だけに任せっぱなしではなく、公民連携事業を立ち上げていきたいと以前から申し上げていました。ぜひ実現していただきたいです。

**答** 市では所有者である株式会社伊徳に対し、早期の事業展開を引き続き要望していきます。公民連携事業の実施は、今後、伊徳側から連携について提案があった場合には、その内容を踏まえ検討したいと考えています。

**漁業環境の改善と安全対策について**

最近、防潮水門の汚れた過大な放流により魚が流されたり、アオコの大量流出により魚類に悪臭が付くなど、船川沖周辺の漁業

は被害を被っています。また、防潮水門からの大量の流砂によって水深が浅くなり漁船が転覆の危機をも抱える事態となっています。さらに、防潮水門開閉のタイミングは漁協にも知らせず、漁船の航行計画も定まりません。市の見解を伺います。

**答** 防潮水門開閉時の連絡体制の調整は、5月24日から秋田県八郎潟幹線施設管理事務所と秋田県漁業協同組合、漁業関係者による話し合いが行われ、今後も続けていくと伺っています。

**答** また、漁船航路の必要深度回復については、平成30年度から国の補助事業を活用して航路の浚渫を実施する計画であると考えています。航路の安全確保については、今後、関係機関との連絡を密にして対応していきます。

**答** 八郎湖汚水問題の改善計画について伺います。

**答** 市では八郎湖流域指定地域への高度処理型浄化槽設置に対する補助制度を実施しているほか、県及び周辺の9市町村で組織する「八郎湖水質対策連絡協議会」と連携し、水質改善に向けた取り組みを進めたいと考えています。

**【その他の質問】**

●市長の政治姿勢について  
●男鹿総合観光案内所の充実を過疎化と若者定着について



土井 文彦 議員

自転車による地方活性化と観光振興について

地域の経済効果とスポーツ観光振興に力を発揮する「男鹿半島なまげライド」の今後の展開として、市の主催で、さらに大きく育てることはできないか伺います。

財政状況、市のスタッフの人員配置からするとNPOの組織化や民間の活力を活用したイベント運営を期待します。道路やサイクルスタンドなどの環境整備を国・県と協力しながら、行政としても、自転車愛する方々だけではなく、地域の人々が興味を持って自ら参加していく環境づくりに努めていきます。

環境豊かな男鹿半島をしまなみ海道のような「サイクルロードの聖地計画」をして、自転車観光を目指せないか伺います。

サイクルロードの利便性を高めるために、複合観光施設を休憩所として使っていたらどう、サイクルスタンドやシャワー室を

整備します。また台湾などでもサイクルリングが人気で、県では、インバウンド対策として昨年度より「AKITA A里山サイクルリಂಗ推進事業」を実施し、男鹿における事業も検討しています。これらの取り組みを含め、本市観光振興への活用について、今後研究していきます。

複合観光施設の今後の展開について

複合観光施設での行政視察受け入れについてご所見を伺います。

視察受け入れは、各種観光施設の利用や飲食、宿泊など市の経済への効果も大きいと捉えています。市内での宿泊や観光施設見学について、モデルコースをホームページ上で提案するなど、視察による波及効果が大きくなるよう工夫します。全国から注目され、多くの視察客が訪れる施設となるよう、成功に向けて「オール男鹿」体制で取り組んでいきたいと考えています。

ジョイフルシティ跡地の活用方法について (図書館付きコミュニティセンター設置による周辺一帯モール構想について)

納税者が納めやすい環境を整備するため、郵便局での納付も可能としました。こうした取納手段の整備とともに納税者にきめ細かい対応をします。とで税金を確保していきます。

予算特別委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会にて託された各会計の平成29年度補正予算案について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

除却費用の30%を助成

空き家対策について

空き家等除却費補助金の申請見込みとこれまでの利用状況について伺います。

空き家等除却費補助金は、空き家の除却費用に対し30万円を上限に対象費用の30%を助成するもので、今回5棟分を計上しています。これまでの実績としては、平成25年度からの4年間の合計で14件、33万7千円となっております。

市内には空き家が数多くある。空き家総数を減らす取組について伺います。

5月末現在で助言指導の対象となっている建物は172件です。このうち、登記簿や固定資産台帳の調査により所有者の所在が判明した111件については、文章を送付し、適正な管理をお願いし

ています。今後も現地調査により、被害の恐れや危険な箇所があった場合はその都度対応していききたい。

過去最高の収納率確保

国保税収納対策について

国民健康保険税の収納強化と平成28年度末の未納状況について伺います。

平成28年度は夜間の納税相談を8回、休日の納税相談を10回開催し、未納額縮減に努めた結果、未納額は、現年分、滞納繰越分を合わせ、約1億4千785万円となつていいます。これは平成27年度決算時と比較し1千318万7千円の減です。税率引き上げにより、例年同様の収納率を維持できるか不安もあったが、現年分の収納率は95%を超え、市町合併後、最も高い収納率を確保することができました。また、今年度からは、

納税者が納めやすい環境を整備するため、郵便局での納付も可能としました。こうした取納手段の整備とともに納税者にきめ細かい対応をします。とで税金を確保していきます。

地域バランスを考慮し選任

農業振興を図るための農業委員選任方法について

農業委員の公募について、中間報告、最終募集結果報告をホームページで公表しています。19人の定数に対し28人の応募があったことから、市職員かなる評価委員会での国が示している要件や地域バランスを十分考慮し選任案を作成したのち、市長と協議をしました。

転作団地化育成事業費補助金の内容について伺います。

本市独自に転作の団地を形成するための支援を行っています。地域によって大規模団地が構成にくいような条件もあるが、1畝以上の団

地を形成した場合には10畝当たり3千円を交付しています。対象作物は大豆、メロン、野菜等です。

林業関連事業と森づくり税を活用した若手育成について

林業振興費として、森林整備推進費補助金及び間伐材有効活用事業費補助金、また、造林費として、間伐材有効活用業務などの予算を計上しているが、事業内容を伺います。

林業振興費に計上した予算は、私有林の森林整備に對するものです。森林整備推進費補助金は、森林所有者が除伐、下刈り等を森林組合に依頼する場合に経費を軽減する目的で補助金を支出しています。間伐材有効活用事業費補助金は、間伐材を市内の合板工場や製材工場へ運搬する経費への助成です。造林費に計上した間伐材有効活用業務は、資源の有効活用、市内の木材産業の活性化を目的に間伐材を有効活用するため、集積した材を業者委託により運搬し、いずれにしても森林業者の積極的な施業により

とされています。意見 林業後継者が育っていない現状を踏まえ、中長期的な展望に立ち、県の森づくり税などを活用した地域の若手林業者を育成する必要があります。と思います。

新たにガス抜きタンク設置

「温浴ランドおが」湯湯ポンプ更新について

温浴ランドおがの利用者数及び男鹿山温泉2号井湯設備更新工事の内容とこれまでに設備との違いについて伺います。

温浴ランドおがは、年間約6万8千人が利用しています。平成26年の2号井掘削から2年後にポンプが破損し、現在、沸かした湯での営業を行っています。ポンプ破損の原因については、源泉に炭酸ガスが多量に含まれているため、ポンプに負荷がかかるためと言われています。今回の設備更新については、湯湯に後貯湯槽を設け、湯湯に負荷をかけないようにガスを抜く設備を設けることとしており、これまでの設備と比べ、使用期間が長くなると考えています。

議案質疑

男鹿市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

病棟数を177床から稼働病床数の145床に改めるとのことだが、医師不足により9年前から3階病棟は閉鎖状態であり、これまでどのような経過措置で運営されてきたのか。また、地域との連携とあわせどのような運営形態を取ってきたのか伺います。

平成20年3月から32床を休床し、145床で運営しています。休床した病床については、病後児保育の保育センター並びに感染予防の予備室として有効活用しています。

地域連携については、各病院との連携並びに市内施設との連携強化を図るため、地域連携室を設置し、さらに地域包括ケア病棟の設置で地域医療の連携に取り組んでいます。

条例の改正前後では国等からの交付金の取り扱いがどのように変わるのか伺います。

国では地域医療構想を推進するため、普通交付税の算定基礎において、これまでの休床病床数を稼働病床と見なし算定する特例措置を平成28年に廃止し、新たに許可病床数の削減に対して加算措置を講ずることとしています。この度の病床数削減により、交付税の算定において有利になるものと考えています。

医師の充足不足が原因とのことから、病院経営健全化のために平成21年度からの7年間で総額9億8千500万1千円を一般会計から特別に繰り出してきました。前市長は平成27年度に経営健全化計画を達成し、28年度以降は病院として独り立ちできる体制を整えていくとの答弁をしていましたが、市長は病院管理者として今後どのように病院経営及び運営に関わっていく考えなのか伺います。

病院経営の大幅な変化を痛感しています。経営安定のため今すぐできることは、常に運動する習慣をつけ健康寿命を延ばす運動を展開していくことだと考えます。また、良いサービス、良い医療技術を提供できるように病院とのコミュニケーションを重ねながら改革をしていきたいと考えています。

とされています。

意見 林業後継者が育っていない現状を踏まえ、中長期的な展望に立ち、県の森づくり税などを活用した地域の若手林業者を育成する必要があります。と思います。



委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

質疑 ふるさと納税に対する謝礼品の発送等を大手業者に委託したことによって効果はどれほど出たのでしょうか。委託業者の選定理由についてもあわせて伺います。

答 ふるさと納税謝礼品業務については、株式会社JTB西日本と契約を締結し、寄附者への謝礼品の発送など仲介的な業務を委託しています。同社を選定した理由は、本市では、平成28年度から、寄附者の利便性を向上させるため、寄附者が希望する時期に男鹿産の返礼品を受け取れるポイント制を導入しており、そのシステムが運用可能である同社に委託したものです。

効果については、インターネット活用前の平成26年度では、346万1千円であったのに対し、平成27年度では大手ポータルサイトを利用したところ、2千340万5千円に伸び、さらにポイント制を導入した平成28年度は4千536万5千100円となり、インターネットの活用や返礼品業務委託により、かなりの効果が出ていると認識しています。

質疑 町内会の果たす役割と町内会交付金制度の見直しも含めた今後の見直しについて伺います。

答 町内会が担っている地域での環境整備活動や住民相互の親睦的な活動、さらに住民の生活に係る行政との協働など、地域づくりに係る公共的な活動は重要であると認識しています。町内会交付金については、その時々にあわせて見直しをしていく必要があると考えますが、この交付金については基本的には、継続していくものと考えています。

教育厚生

質疑 みなと市民病院の平成

28年度実績で入院患者が増加傾向にあり、外来患者が減少傾向にある要因について伺います。

答 入院患者の増加は秋田大学附属病院などから、症状が安定した患者を引き受け、医療連携強化の効果であり、また地域包括ケア病床の設置により比較的長期の入院が可能となったことから入院患者を確保しています。外来患者の減少については、泌尿器科常勤医師の不在により透析センターの形態が変わったこと、減少となった要因です。

産業建設

質疑 八郎湖周辺清掃事務所

の構成市町村の多くがごみの有料化による減量化に努めており、さらに排出量の半分以上を男鹿市が占めている現状について伺います。

答 一般廃棄物ごみ処理基本計画で一人一日当たりの排出量の数値目標を掲げており、市民一人ひとりの意識改革、あらゆる機会での減量化の周知啓発活動に努めていきます。

質疑 用地測量委託費や立木補償費を削減する方策と15年間の事業予定期間の短縮について伺います。

答 土地購入費以外の経費が多く、この経費を軽減できれば事業期間の短縮にも繋がると考えております。この後開催予定の地権者説明会において、事業費抑制と計画期間短縮の方策を示してまいります。

質疑 複合観光施設に急速冷凍設備の導入を予定している民間事業者は、現在国の助成金の申請をしているとのことだが、助成金が得られない場合、全額自己負担で急速冷凍設備を導入するのか。

答 民間事業者は国の助成金を充当した事業実施を考慮しており、全額を自己負担とする

ることは厳しいと考えます。市としては、急速冷凍設備は漁業振興及び6次産業化の推進のためには是非とも必要な施設として、未来プロジェクトの中にも位置づけたいです。質疑 急速冷凍設備の買付料の考え方について伺います。

答 急速冷凍設備を含め建物全てを一括して運営会社から急速冷凍設備を導入する会社にテナントとして貸し付ける予定で、テナント料については建物面積により算定する方向としており、詳細は運営会社で決定します。

産業建設

質疑 複合観光施設に急速冷凍設備の導入を予定している民間事業者は、現在国の助成金の申請をしているとのことだが、助成金が得られない場合、全額自己負担で急速冷凍設備を導入するのか。

答 民間事業者は国の助成金を充当した事業実施を考慮しており、全額を自己負担とする

質疑 敷地造成工事をはじめ、事業の進捗状況について伺います。

答 敷地造成工事については、入札により業者を決定し、工期を8月25日として、現在盛られている土砂を除去しています。また、JR用地の取得については、6月9日に売買契約を締結しています。

平成29年度一般会計補正予算について討論がありましたので、その内容についてお知らせします。

議案第53号に対する反対討論

佐藤 巳次郎 議員

複合観光施設建設予定地は、未だ市民合意がなされていない状況で、市長も認めています。

船川のまちづくりは、以前から図書館を核とした文化施設、市民の交流施設と運動機能を備えた温浴施設の建設が市民から強く望まれており、船川地区の活性化、移住対策に繋がるとして質してきましたが、市長は現在、具体的計画はなく、公共施設等総合管理計画や財政状況を踏まえて検討するとしており、複合観

光施設の建設ありきで、船川の活性化策は先の見通しがない答弁となっています。

次に、複合観光施設建設事業費に急速冷凍設備を別棟として建設することが計画されています。急速冷凍機が必要であるとして漁業事業者が冷凍会社を新たに設立しており、それに対し市では全面的に支援するとして、設備棟建設費約3千万円を公費で支出するとしています。事前に議会に何らの協議、相談もなく予算提案されており、市民の立場からすると到底、賛成できません。当然、冷凍会社に負担させるべきであります。さらに、私が急速冷凍機の

国への補助申請が却下になったのでないかと質したところ、市では5月末に却下されたことを認めました。なぜ議会に報告できなかったのか市の姿勢が問われます。

会派構成

会派に異動がありましたのでお知らせします。

新国会

(3人)

会長 畠山 富勝

副会長 吉田 清孝

幹事長 三浦 一郎

※一、会派とは、市政に対して同じ理念や考え方をを持った議員で構成し活動するグループです。

選挙管理委員会等選挙

佐藤 龍雄

杉本 和夫

浅野 光男

加藤 謙一

佐藤 誠一

加藤 英透

武田 繁子

議会人事

5月2日、欠員となつてい

ました総務委員会委員を議長

指名により選任したほか、男

鹿地区消防一部事務組合議

議員の補欠選挙が行われ、指

名推選により、次のとおり決

定しました。

議案第53号

議案第59号

議案第53号

議案第59号

議案第53号

議案第59号

議案第53号

議案第59号

議案第53号 平成29年度男鹿市一般会計補正予算(第4号)について
議案第59号 男鹿市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

Table with 10 columns: 議案番号, 会派・議員名, 新生, 政和会, 市民の会, 新国会, 本産党, 日共産党, 公明党, 議決結果. Rows include 議案第53号 and 議案第59号 with corresponding support/opposition marks.

※三浦利通議長は採決に加わりません。
※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

まちの未来が見える (6月定例会の傍聴者は52人)

# 議会傍聴においでください

● 次の定例会は9月

定例会開会7日前から「会期及び日程表」、「一般質問通告書」を支所、出張所窓口にて備え付けておりますので、議会傍聴にお越しの際の参考にしてください。

## 陳情

● 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

《主な内容》学校現場における課題が複雑化する中で、子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠であり、教職員定数改善を推進すること。また教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担割合を2分の1に還元することを求める。

● 日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し禁止条約の実現に努力することを求める意見書についての陳情

## 意見書

● 日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、核兵器禁止・廃絶の実現に尽力することを求める意見書

● 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

2件とも可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

## 人事案件

地方公共団体の長が、議会の同意を得て選任し、または任命する人事に関し、議会の同意を得るために提出する議案のことを言います。

人事に関する同意案件は、会期最終日に追加議案として提出され、原則として委員会に付託せず、本会議において審議され、その日のうちに可

## 議会の豆知識

否を決する地方議会が多く、男鹿市議会も同様の運営をしています。

5月第2回臨時会では、副市長の選任案が提出されたほか、6月定例会には、監査委員の選任案や教育委員会委員の任命案、人権擁護委員の推薦案などが提案され、審議を行いました。

## 平成29年9月定例会日程 (予定)

月	日	曜日	会議名	主な内容
9	1	金	本会議	決算特別委員長報告 (公営企業会計) 質疑、討論、表決 市長提出議案上程 (提案理由の説明)
	5	火		一般質問
	6	水		一般質問
	7	木		一般質問
	8	金	議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託 決算特別委員会設置・付託	
	11	月	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	12	火	決算特別委員会	付託議案の審査・質疑・討論・表決
	13	水	(一般・各特別会計)	
	14	木	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査 (総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
	15	金		
21	木	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決	
		議会運営委員会	最終日の運営について	
	本会議	各委員長報告 (総務・教育厚生・産業建設・予算特別・決算特別) 質疑、討論、表決		

## 編集後記

▼夏真っ盛り、沿道には大輪のアジサイやヒマワリを目にします。

▼菅原新市長を迎えての6月市議会定例会は、市長就任後初の一般質問が行われましたが、各議員の質問に丁寧に答弁していただきました。本市再生に向け意識を強く持ち、一方通行となることなく、奥深い政策と納得のいく議論の場を作っていたいただきたい。勿論我々議員一人ひとりにも求められることでもあります。

▼本市の課題の一つとして雇用の確保、若者の仕事場作りがあります。徹底した政策と取り組みを打ち出していくべきであり、行政と議会が一丸となって、企業の呼び込み、若者の定住に目を向けていかなければなりません。

▼議会報告会は、7月4日の椿地区を皮切りに9地区で行われました。予算や事業報告の後、参加者から質疑を受け、その場で答弁できない内容については持ち帰り、市当局に伝え対応します。来年も開催いたしますので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

(船橋金弘)